



研究所だより

那覇市立教育研究所

那覇市金城 3-5-3

Tel 917-3441 Fax 857-8681

naha-c@naha-c.nahaken-okn.ed.jp

所長 田中 浩三



中核市・新たな研修スタートの年

所長 田中 浩三

「明けまして おめでとうございます」

新年早々すばらしい天気にも恵まれ、石川啄木の「何となく今年はいい事あるごとし 元日の朝晴れて雲なし」の心境の如く、希望や期待を胸に新年をスタートされた方も多かったのではないのでしょうか。

さて、今年は那覇市にとっては全国で四二番目の「中核市」移行という記念すべき年でもあります。中核市と言えども県から多くの事務移譲が行われます。本研究所においても法定研修等が移譲され、四月から新たな研修がスタートすることになっていきます。そこで中核市移行後、どのような研修が実施されるのか等、その概要について述べてみたいと思います。

中核市になると県費負担教職員の研修を那覇市教育委員会が実施することになります。そこで、県が実施している「初任者研修」や「十年経験者研修」の法定研修と「その他教職員研修」(教科等専門研修や職務研修等)が本研究所に移譲されます。

ところが、「県費負担教職員」は那覇市に留まらず、県全域の教職に携わることから、その資質等の維持向上を図ることを基本に据えて、これまで何度も県と話し合いを進めてきました。その結果、移譲される研修は次のようになっていきます。

まず「初任者研修」や「十年経験者研修」では、そのほとんどが本研究所に移譲されます。しかし、養護教諭や栄養教諭のように対象者が少数でしかも専門性が求められる研修や県立総合教育センター等で行われる全県的な研修は従来通り県に依頼し実施することになっています。

次に「その他教職員研修」では、県が教育施策の周知等を目的として行う研修(校長研修会や学力向上推進等)については、従来通りその多くを県(教育事務所等)が実施することになります。その結果、本研究所に「五年経験者研修」や「研究主任研修」等、一部の研修が移譲され、さらに新規の研修とも合わせて十余の研修を新たに実施することになっています。

本研究所では現在、中核市を迎えるに際し、法定研修をはじめ移譲する研修や新規の研修、さらには従前の研修について、着実に充実した内容を目指して研修計画を作成しているところです。

本年も所員一同、那覇市の教育に一層寄与していく所存です。関係する皆様のご支援・ご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

次年度教育研究員募集中！

● 新年を迎え、平成 24 年度 後期研究員の研究も折り返し地点を過ぎました。テーマ検討から項立て、中間検討会を経て、検証授業の実施・考察・まとめの時期に差し掛かり充実した日々を送っています。次年度の募集締め切りが近付いています。多くの応募をお待ちしています。

第99期 研究員 検証授業が行われました



12月18日(火) 石川 広美研究員
1月11日(金) 仲地 健 研究員

12月20日(木) 洲鎌 裕子研究員
1月15日(火) 松茂良尚哉研究員



今日の授業は、仮説が有効であったかを見るための検証授業であった。授業を終えて、反省することがたくさん見つかった。課題はたくさん見えてきたが、これらは次の授業改善の目にもなる。次へ生かしていきたい。

また、仮説の手立てが有効であったか、検証が証明できるように、アンケートや感想をしっかりとっていききたい。(石川)



入所してから今日までの理論研究に基づいた検証保育ということで、今までにない緊張感を感じながらの保育実践となりました。

研究会では、私の気がつかなかった数々の子どもたちの姿を含め、今日の実践を次へつなぐための手立て、さらにどのように考察、結果とまとめたらよいのかと見通しを示して頂き、大変勉強になりました。(洲鎌)



- ①ほとんどの児童が読み取りの視点が書かれたワークナビを積極的に活用し、本時の学習課題を立てることができた。
- ②机間指導を通して、児童の考えを把握して意図的な指名をすると全体の考えに深まりがみえる。
- ③複数の資料から共通点、相違点を読み取ったり、関連付けして考えさせるとよかった。指導助言を参考にしながら検証をすすめていきたいと思います。(仲地)



自作資料に生徒が思った以上に反応してくれて、語り合いも盛り上がっていたのは良かったと思う。授業検討会では、所長をはじめ、多くの指導主事の先生方から貴重なアドバイスを頂いた。それを基にして、いい検証ができたと思う。そのためには事後アンケートが重要になってくる。しっかり検証、考察ができるような内容にしていきたいと思う。(松茂良)



平成24年度 沖縄県到達度調査結果

昨年12月に行われた「沖縄県学力到達度調査」の那覇市の各教科平均正答率を報告します。
考察や課題となる問題例と指導の重点等の詳細については、後日 Desknet's に掲載いたします。

小学校		第3学年		第5学年	
		那覇市	沖縄県	那覇市	沖縄県
国語	A	81.1	79.3	60.1	58.6
	B	60.5	57.7	69.2	68.1
算数	A	86.8	58.7	76.4	75.7
	B	61.6	60.1	37.5	34.9

中学校	国語	社会	数学	理科	英語
那覇市	61.2	51.9	42.8	36.4	58.3
沖縄県	59.4	51.0	40.5	34.7	55.4

※ 沖縄県データが公表され次第 数値を挿入し再発行します。



第99期 研究員 所内講座・研修

コミュニケーションスキル講座(11月22日)

講師：吉田文子先生(セルフコンフィデンス沖縄)

エクセル活用講座(12月26日)

講師：上地弘美先生(株式会社興洋電子)



データ処理の苦手の自分にとって今回の研修はとても楽しみにしていた研修の1つだった。期待通りデータ処理に必要な基本的なことから、便利な操作などを丁寧に教えて頂いた。これで、アンケートを基にした検証もスムーズに行くのではないかと確信が持てるようになった。また、今回得た知識を現場に帰ったら、データ処理の苦手な同僚に教えていきたいと思う。(松茂良)

集計表の作成はフォーム(型)を作っておけば、データを入力したり、貼り付けたりするだけで、楽に集計ができた。研究のアンケートの集計が思ったよりすぐにできそうだと感じた。集計データをグラフ化するのも表さえできていれば簡単に作ることができた。また、いったん作ったグラフもクリック一つで他のグラフに変えることができた。表題や注釈も自分なりに工夫することができることがわかった。いろいろ試してみたい。(石川)



上地先生



吉田文子先生



人は言語(言葉)、周辺言語(声、スピード、間、抑揚、口調)非言語(表情、しぐさ、視線、姿勢、体型、肌、髪、装飾品、など)によって全身で情報を伝達している。驚いたことは言葉を聞いているのは全体の8%にすぎないそうで、非言語が70%を占めるそうだ。言葉だけではなくいろいろな考え方を理解することにより他者との関係をよくしていきたい。(仲地)

相手の考え方とは違って当たり前と考え、脳を不安にする絶対的思考から自分を解き放つ作業を心がけていきたいと思えます。そして、コミュニケーションをとる相手が気持ちよく心を開いてくれるような人間になれるように、言葉を意識して使っていきたいです。(洲鎌)

コンビニ国語講座 受講者募集中!

第4回講座 2月20日(水) 17:45~

第5回講座 2月27日(水) 17:45~

申し込みはメール、電話、faxにて受け付けています。詳しく是那覇市立教育研究所HP又は Desknet's で。お気軽にご連絡ください。



お勧め月刊誌

『数学教育』 明治図書出版

中学校における数学内容に視点を据え、数学教育の向上と発展に重要な意味をもつ理論的・実践的諸問題の特集のテーマとする。内容は、指導事例を実証にもとづいて多様な角度から捉え、指導の方法、考え方、技術を深め、現場に役立つ教材研究の掘り下げを目指す。



図書室にて貸し出ししています♪

締切間近 2/5(火)

平成25年度 教育研究員募集のお知らせ

第100期【前期】 平成25年4月1日から6ヶ月

第101期【後期】 平成25年10月1日から6ヶ月

募集要項でお確かめください。※ 那覇市立教育研究所HP または Desknet's で。

研修の流れ

理論研究



研究内容の検討



検証授業



まとめの検討



その他、多くの研修や講座があります。